

2024年3月29日
京都信用金庫

「京信イノベーションC3号ファンド」設立のお知らせ

京都信用金庫（本店：京都市下京区、理事長：榊田 隆之）は、投資子会社である株式会社京信ソーシャルキャピタル（本社：京都市下京区、代表取締役：国本 丈弘）と共同で、「京信イノベーションC3号ファンド」を設立したことをお知らせいたします。

当ファンドは2018年に1号ファンドを設立した「京信イノベーションCファンド」の後継ファンドにあたります。同ファンドでは、イノベティブなビジネスモデルにより社会課題の解決を目指す企業や地域活性化につながるビジネスモデルに対して資金供給を行うことを目的に、業種やステージを問わず幅広く地域のスタートアップ企業へ投資を行っており、過去の2本のファンドでは40社超の投資先に対して、総額10億円超の投資を実行しています。

今回設立した3号ファンドについては、引き続き「社会性（社会課題）」「成長性（革新性）」「地域活性化」の3つのテーマを軸に据えながら、ファンド総額を同2号ファンドから倍増させることで、地域のスタートアップ企業支援を拡大いたします。

当金庫は今後も地域の社会起業家への支援を通じて、豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「京信イノベーションC3号ファンド」の概要

- 名 称：京信イノベーションC3号投資事業有限責任組合
(通称：京信イノベーションC3号ファンド)
- ファンド総額：1,000百万円
- 組合員構成：有限責任組合員 京都信用金庫
無限責任組合員 株式会社京信ソーシャルキャピタル
- 運用期間：10年
- 投資対象：原則、京都信用金庫の営業エリア内に所在する企業のうち
(1) 地域活性化のための、イノベティブな取組に挑戦する企業
(2) 事業承継をお考えの企業

2. 株式会社京信ソーシャルキャピタル（KSC）について

京都信用金庫100%子会社のベンチャーキャピタル。地域貢献に資するビジネスモデルや社会課題の解決に挑む社会起業家を応援することで地域の活性化に貢献することを目指しています。





本日実施した記者発表の様子

(左より：株式会社京信ソーシャルキャピタル 代表取締役 国本 丈弘、京都信用金庫 理事長 榊田 隆之、
3号ファンドの第1号投資先 株式会社 Thinker 代表取締役 CEO 藤本 弘道 氏)

以上

地域のチャレンジ企業をサポート

京信イノベーションC3号ファンド

ファンド名の“C”は、コミュニティ・バンク京信のシンボルマーク(Customer, Company, Communityが結びつき、Cultureを形成する)と、地域における起業のChallengeを支援したいという私たちの思いを表しています。



地域活性化のための、イノベティブな取組に挑戦する企業を支援する「京信イノベーションC3号ファンド」。
みなさまと共に、地域の未来の創造を目指します！

投資対象

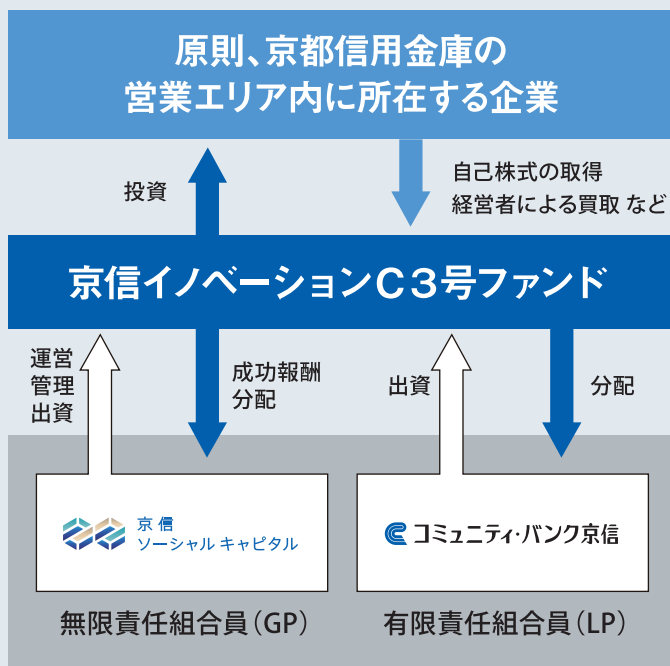
- ① 地域活性化のための、イノベティブな取組に挑戦する企業
- ② 事業承継をお考えの企業

※ ①②いずれも原則、京都信用金庫の営業エリア内に所在する企業が対象です。

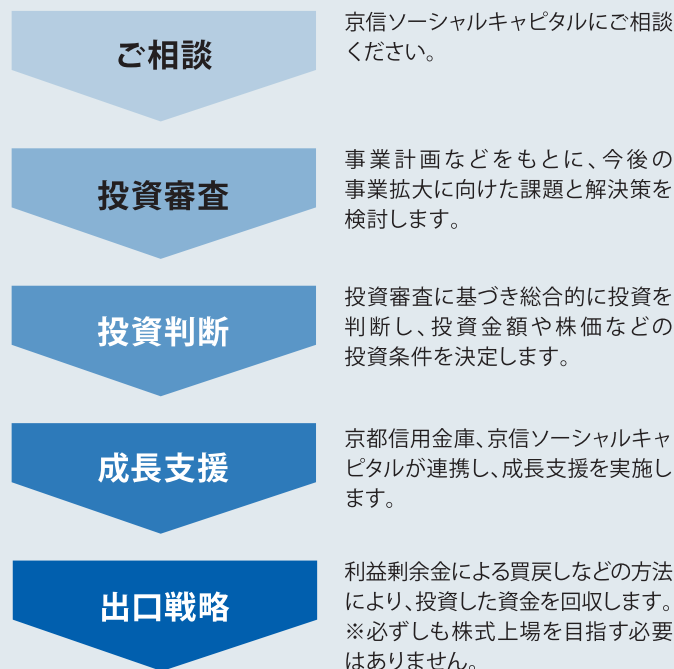
ファンド概要

ファンド名称	京信イノベーションC3号投資事業有限責任組合(略称:京信イノベーションC3号ファンド)				
設立日	2023年10月31日設立	運用期間	10年間	ファンド総額	1,000百万円
投資額	概ね3百万円~30百万円(原則、投資額の上限はファンド総額の10%)				
出資者	有限責任組合員:京都信用金庫 無限責任組合員:株式会社京信ソーシャルキャピタル				

ファンドスキーム



ファンドフロー



投資方針・対象

原則、京都信用金庫の営業エリア内の事業者で

1

地域活性化のための、イノベティブな取組に挑戦する企業

※主に下記4つの観点(出口はIPO・M&Aに限定しません)

社会課題解決

社会課題解決をビジネス面からアプローチする企業

地域循環

地域に根差し、地域社会の活性化に資する企業

イノベーション

大学発ベンチャー企業など、新たな産業を創出できる可能性のある企業

事業連携

京都信用金庫と事業連携を図ることで
新たな価値を創造できる可能性のある製品やサービス

2

事業承継をお考えの企業

- 経営陣への株式集約や、従業員などへの第三者承継をお手伝いします。
- ベンチャー型事業承継を応援します。

※業種・ステージは問いません

お問い合わせ先



京信
ソーシャルキャピタル

☎ 075-222-0441

✉ kanri@kscapital.co.jp

京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地